

単元名	未来を創り出す「食」プロジェクト ～人も地球も健康になる食を考える～		学年	6年生
内容	B_地域の創生		総時間数	17
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域への献立の発信、販売の活動をとおして、健康増進につながる「食」について学んだことを発信する。【目標（2）】 ・東邦大学の職員の方々や栄養士、食産業の方々との関わりを大切にしながら、献立づくりに主体的に取り組み、地域の食生活の課題解決に貢献しようとする態度を養う。【目標（3）】 			
指導計画の概要				
学習過程	主な学習活動			外部連携・教材等
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・広く地域に発信する必要性を理解し、その方法を考える。 ・企業と連携する効果を知り、どのような連携が可能かを考える。 ・自分たちの考えた献立をそのコンセプトをプレゼンテーションする。 			フォーシーズpizza-la
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの考えたコンセプトやレシピを生かしたピザを考える。 ・栄養士や東邦大学の方、企業の方に試食してもらい、フィードバックをもらう。 ・フィードバックを基にレシピを改良し、完成させる。 			東邦大学 フォーシーズpizza-la
クリエイション	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセプトとレシピの工夫を発信できる販売方法と、購入者から感想をもらう方法を、企業の方に提案する。 ・考えた方法で販売し、感想をもらう。 ・これまでの学習を振り返り、成果や価値、改善点を見出す。 			東邦大学 フォーシーズpizza-la
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数				
教科名等	本単元で補完する内容			授業時数
国語	書くこと	単元名「書き方を工夫して、すいせんする文章を書く」 ・資料から分かることと自分が考えたこととを区別し、資料と文章との対応が分かるように書く。		3
算数 (第6学年)	データの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察すること。 		2
理科 (第6学年)	物質・エネルギー_第6学年	「理科とプログラミング」 プログラミング的思考の考え方を活動に取り入れる。		2
	生命・地球_第6学年	「地球に生きる」 持続可能な社会のために、自分ができることを考えたり取り組んだりする。		
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人、もの、ことの中から問いを見いだし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。 			10